

リトルリーグ東北連盟
大会運営マニュアル



**Little
League**

リトルリーグ東北連盟
宮城県リトルリーグ野球協会
2025年3月

***役員、理事の心得**

- 1 役員、理事の服装は所定のものを着用し（上下白色-夏季は黒色短パン可）
ネームプレートを定められた位置に着けること
- 2 役員、理事は大会期間中 事務局会議（理事会）に出席し、連絡事項等について
話し合いの時間を設けること
- 3 役員、理事は大会期間中、所定の位置（本部席）に着き、競技運営等が
スムーズに行われるよう指示、サポートすること

【大会別担当表】
-トーナメントディレクター-

宮城県協会

大会名	令和元年 2019年	令和2年 2020年	令和3年 2021年	令和4年 2022年
仙台放送杯	仙台港 泉	仙台広瀬 仙台港	宮城野 仙台広瀬	* 東日本選手権
全日本選手権 (IM)			宮城利府 仙台青葉	
全日本選手権 (メジャー)	仙台東			
MLBCUP	仙台 仙台港	仙台 仙台青葉	仙台青葉 宮城利府	仙台青葉 宮城利府
東日本選手権	宮城利府 宮城野	宮城野 仙台東	仙台東 宮城野	仙台東 仙台黒松 * 仙台放送杯
ミズノカップ	仙台黒松 仙台広瀬	仙台黒松 仙台	仙台黒松 仙台青葉	仙台黒松 仙台青葉
全国選抜	塩釜 仙台広瀬 *6・5年生大会	宮城利府 塩釜		

大会名	令和5年 2023年	令和6年 2024年	令和7年 2025年	令和8年 2026年
宮城リーグ 春季大会	仙台広瀬 仙台東	仙台東 仙台黒松	宮城利府 仙台黒松	
仙台放送杯		仙台青葉 仙台広瀬		
全日本選手権 (IM)	宮城利府 仙台青葉	チームT 宮城利府	仙台青葉 宮城野	
全日本選手権 (メジャー)	宮城野 仙台黒松	宮城野 宮城利府		
仙台放送杯・ 全国選抜	仙台東 宮城野	宮城利府 仙台東	仙台東 仙台広瀬	
MLBCUP	仙台青葉 宮城利府		宮城利府 仙台黒松	
Tボール宮城県大会	仙台広瀬 仙台東	宮城ジュニア 宮城野	宮城ジュニア 仙台東	
ミズノカップ	仙台黒松 仙台広瀬	仙台黒松 仙台青葉	仙台青葉 仙台広瀬	
秋季マイナー大会			仙台東 宮城野	

【大会準備-大会開催までの流れ-】

	項 目	担 当 者
【事 前 準 備】		
1	大会期日・グラウンド の決定	理事会にて確定
2	大会要項、組合せ作成（事務局長要確認）	TD
3	選手登録受付（遅くとも抽選日前日までに提出必須）	事務局長へ提出
4	試合形式の決定（登録チーム数によってトーナメントorリーグ戦）	理事会にて確定
5	組合せ抽選	理事会にて確定
6	パンフレットの作成、配信	TD・事務局長
7	トロフィー（又は盾）、メダル、賞状の手配 -大会によってはレプリカの手配有-	運営委員 ・ TD
8	試合球・ロジンの手配	TD
9	本部スコア ・球数チェック ・イニング表・ピッチャー管理表の準備	TD
10	県協会審判用飲料等の準備	本部主管女性部
【当 日】		
11	グラウンド設営	主管
12	本部席・審判席設営	主管
13	理事会 ☆役員・審判・理事（・監督）	
14	開会式準備 ☆アナウンス 来賓名・役員名等の確認 長机(白布で覆う)に優勝(準優勝・3位)トロフィー(又は盾)・又は優勝旗 準備	主管
15	開会式 ☆開会式放送マニュアル別紙参照 ホームベース後方:来賓・役員・理事 1塁側:審判 3塁側:指導部 に整列 ライト後方より 先導:県協会理事の後に選手入場(団旗・プラカード) ☆先導者(担当TD)はジャケット着用 ☆入場サポート員必要	主管
試 合 進 行 *		
16	閉会式準備 ☆アナウンス 来賓名・役員名・順位等確認 長机(白布で覆う)に優勝(準優勝・3位)トロフィー(又は盾)・又は優勝旗 賞状(お盆)・メダル(お盆) ☆白服女性部表彰サポート	主管
17	閉会式 ☆閉会式放送マニュアル別紙参照	主管
18	グラウンド・本部席・審判席 撤収	主管
19	理事会 ☆役員・審判・理事（・監督）	

試 合 進 行 *

	項 目	担 当 者
1	朝の理事会にて 大会進行等確認・共有 1試合目のメンバー表交換時間・ベンチ入り時間の確認	
2	メンバー表交換 ☆キャプテン・審判・チーム理事・本部役員	
3	ボールボーイ・得点版・BS0・ホームラン確認員 の配置	対戦チーム
4	審判員 給水クーラー設置（天候によって冷・温確認）	主管
5	審判員の確認	主管
6	本部席スコアラー・投球数・アナウンス 準備 全日本選手権大会は 全員出場チェック も必要 速報入力・イニング表作成 スコア・速報入力・イニング表は記録内容を統一	主管 TD・対戦チーム
7	4回終了時(連戦の場合は試合終了後)次の試合のメンバー表交換 ☆キャプテン・審判・チーム理事・本部役員	
8	試合終了後 スコアラーが投球数記録シートを作成（鉛筆不可） →各チーム理事に渡す 投球記録シートは2試合目以降はメンバー表交換時に理事が持参し、 審判と共に確認する	主管
9	次の試合のメンバー表交換時間・ベンチ入り時間の確認	TD
10	次の試合のメンバー表交換時間・ベンチ入り時間のアナウンス	主管
	-繰 り 返 し-	

★女性部本部運営マニュアル

- ① 服装は上下白色で統一(上衣は県協会の白ポロシャツ)
 - ・ 開会式・閉会式のグラウンド担当は、白帽子を着用する
 - ・ 防寒着の指定なし
 - ・ アナウンスの服装はチーム T シャツ、又は白ポロシャツ(県協会)、長ズボン
帽子はチーム帽、又は白帽子(かぶらなくても可)
 - ・ M L B の本部は、M L B ポロシャツ・M L B 帽子で O K
- ② 準備物
 - 【審判席】 テント・イス・テーブル・ブルーシート・クーラーBOX(人数分)・ごみ袋
お菓子等・ポット (セルフで飲み物を取れるようにセット)
 - 【本部席】 ポット・お菓子・ブルーシート・お弁当入れクーラーBOX・氷(夏)・ごみ袋
- ③ 県協会審判について
 - ・ 試合時給水用 1 人につき 500 ml ペットボトル (お茶 1 本・スポドリ 2 本)・おしぼりの準備。クーラーBOX に記名をお願いします
 - ・ お昼時には、クーラーボックス(大)に飲み物・お弁当を各自が取れるように準備
- ④ 本部主管運営予算
 - 宮城県支部 → ￥2,000～3,000/1 日 (審判用飲み物・塩飴・OSI 等)
 - 東北支部 → ￥5,000～/1 日 (審判用飲み物・お菓子 (銘菓入り等))
 - ※トイレットペーパー・BOX ティッシュ・蚊取り線香・紙コップは、役員で準備します
 - ※余った飲み物等は、役員に返却をお願いします

→領収書名は、その都度連絡をします
- ⑤ 各大会の要項・規則等を事前に確認し、スコアラー 1 名・球数カウント 1 名ずつ
 - ・ 主管チームでスコアラー・球数を派遣ができない場合は、各チームに声掛けをし
女性部長 L I N E で共有をお願いします
 - ・ 各チームアナウンスは 1 名ずつ (球数は本部スコアラー・本部球数カウントで対応する)
 - ・ 本部に入る母は、5 名 (スコアラー・球数は 5 名で回す)
 - ・ 他県チームより、ゴミの投げ方について質問があった場合のみ、主管チームで持ち帰り
をお願いします
- ⑥ 本部席は外からの問いかけに応じないようにして下さい (例) 試合開始時刻や投球数等
- ⑦ 本部は中立の立場であるので、応援や歓声をあげないようにして下さい
 - ・ 試合終了後、選手の挨拶に立ち上がって拍手をして下さい
- ⑧ 県協側で看護師の手配が出来ない場合
 - ・ 父兄で対応出来ない事例は、すみやかに救急車を呼ぶ等の対応をお願いします

- ⑨ 開会式・閉会式の準備をお願いします（アナウンスマニュアル・賞状用お盆・白布等）
- ⑩ 時間制限のある試合で、アクシデントが発生し試合が止まった場合は、時計を止め試合の再開で時間を進めるようにして下さい
- ⑪ 「投球数記録シート」は球数、スコアラーのどちらかの方が記入をお願いします（ボールペン使用）
※試合終了後、本部役員に提出してください
- ⑫ 本部スコアラーは、ボールペンで記入をお願いします（修正液使用可能）、投手・捕手変更箇所が分かるように記入をお願いします
・公式戦のスコアラーは、記入事項を回答できる方でお願いします
- ⑫ 球数のカウントについて、1日に規定投球数が20球以下の投手は、次の日は1球目からのカウントとなります

○ルールの注意事項

【全日本選手権IM/MJ 特別ルール】

「全員出場の規則」 全員連続オーダー制

- ・試合当日ベンチ入りした選手は全員が試合に出場しなければならない為 打順は1番～最大14番となる
- ・投手、捕手以外は自由に守備位置の入替が出来る（打順は変えられない）
- ・試合に遅れた選手は一番最後の打順に入る
- ・投手の再登板は IM・有り MJ・無し

【臨時代走】

- ・臨時代走(ピンチランナー)はバッターの1つ前の選手が入るが、その選手がバッテリーの場合はその前の選手になる。

(例) 7番サードA君、8番キャッチャーB君、9番ピッチャーC君、1番センターD君の時、1番のD君が頭部へのデットボール。ピンチランナーは8. 9番がバッテリーの為、7番A君となる。)

- ・二死でランナーが投手・捕手だった場合 臨時代走(コーテシーランナー)を送ることが出来る
→スムーズな試合進行の為、審判が指示することも出来る 【日本ルール(国際ルールではない)】

【故意四球】 IM/MJ →同じ選手に1度のみ

- ・投球前でも投球後でも守備側チームから球審に対し打者に“申告敬遠”を与えることが伝えられた場合故意四球となる

投手の投球数は、監督が故意四球を通知した時の打者が、故意四球を完了するのに必要なカウントに基づき、投球数が与えられる。

(例) 2ストライク 3ボールから申告敬遠の場合、投手の投球数には「1球」が加えられる。

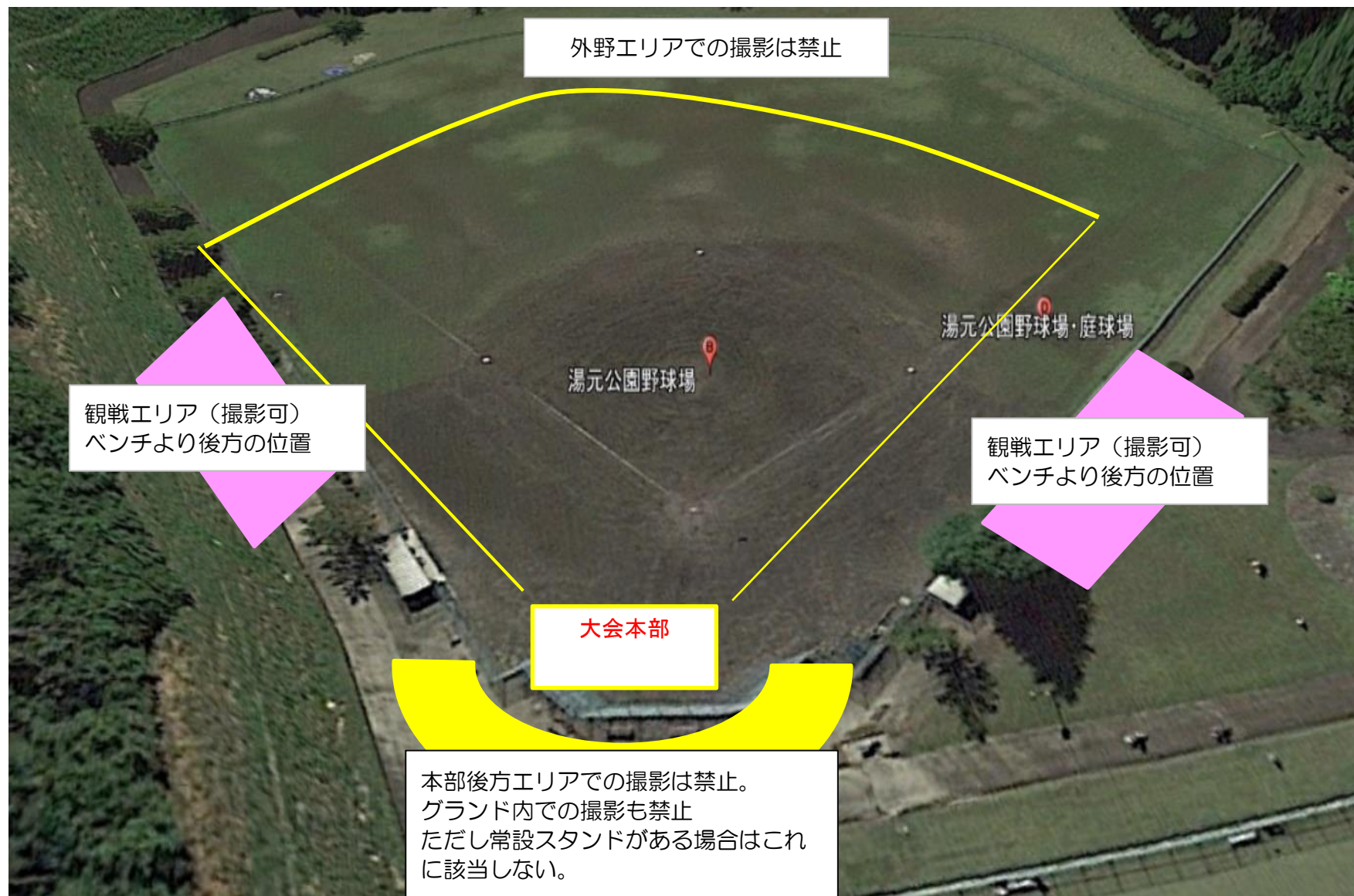
【ピッチャーの投球数】

リトル年	投球数/日
9-10	75
11-12	85
13-14	95

投球数	必要な休息日
1-20	0
21-35	1
36-50	2
51-65	3
65≤	4

- ・41球以上投げた投手はその日 捕手にはなれない
- ・4イニング以上捕手を務めた選手は その日投手にはなれない

■大会における写真等の撮影、グラウンド内入場に関して



- ・ 試合中大会本部及びグラウンドに入場できるのは選手、登録の指導者、大会役員、審判、主管スタッフ、当該チーム保護者（アナウンス等）県協会理事、来賓。（ボールボーイ、得点板保護者も可）
- ・ 試合中の応援はベンチより後方のエリアとし撮影も可とする
- ・ グラウンドでの撮影については、応援エリアのみとする。ただし常設スタンドがある場合は該当しない。